

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成29年5月25日(2017.5.25)

【公開番号】特開2015-201496(P2015-201496A)

【公開日】平成27年11月12日(2015.11.12)

【年通号数】公開・登録公報2015-070

【出願番号】特願2014-78249(P2014-78249)

【国際特許分類】

H 01 L 51/50 (2006.01)

【F I】

H 05 B 33/14 B

【手続補正書】

【提出日】平成29年4月4日(2017.4.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

陰極と、

陽極と、

前記陰極と前記陽極との間に設けられ、駆動電圧が印加されることにより発光する発光層とを有し、

前記発光層は、発光材料と、ホスト材料と、アシストドーパント材料とを含んで構成され、

前記ホスト材料および前記アシストドーパント材料の一方は、電子輸送性の高い材料であり、他方は正孔輸送性の高い材料であり、

前記発光層における正孔の移動度を μ_h とし電子の移動度を μ_e としたとき、 μ_e/μ_h で表わされる移動度比が下記式(I)の関係を満足することを特徴とする発光素子。

0.01 μ_e/μ_h 100 . . . (I)

【請求項2】

前記アシストドーパント材料は、前記発光層において、その含有量が20wt%以上、70wt%以下である請求項1に記載の発光素子。

【請求項3】

前記ホスト材料が電子輸送性の高い材料であり、前記アシストドーパント材料が正孔輸送性の高い材料である請求項1または2に記載の発光素子。

【請求項4】

前記ホスト材料は、アセン系化合物である請求項1ないし3のいずれか1項に記載の発光素子。

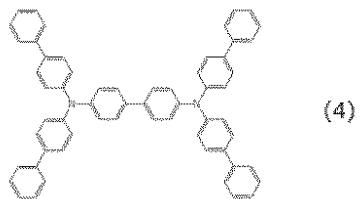
【請求項5】

前記アシストドーパント材料は、アミン系化合物である請求項4に記載の発光素子。

【請求項6】

前記アミン系化合物は、下記式(4)で示される化合物である請求項5に記載の発光素子。

【化1】



【請求項7】

請求項1ないし6のいずれか1項に記載の発光素子を備えることを特徴とする発光装置。

【請求項8】

請求項7に記載の発光装置を備えることを特徴とする表示装置。

【請求項9】

請求項8に記載の表示装置を備えることを特徴とする電子機器。